

普及(安全)と強化は自転車の両輪、埼玉の選手をみんな育てる

立教新座中学校・高等学校 成塚章二

概観

各都県の登録数 現1,2年生(全国1029・関東287・埼玉90人/15校)

高校卒業後 ①競輪選手 ②大学進学 ③実業団競技者 ④市民レーサー

競技の特殊性 ※技術レベルに差があると危険。

ロードレーサー …ブレーキ付きの自転車。公道での練習。CSCサーキットで試合。

トラックレーサー…固定ギア。ブレーキなし。バンク専用。

公道に出るときにはブレーキを装着。

埼玉県内での練習場所の例

ロード 荒川河川敷サイクリングロード

街道練習(例):川島～鳩山～都幾川～東秩父～花園～深谷～熊谷～川島

トラック 大宮双輪場・西武園競輪

練習形態

学校内でローラー。タイヤ引き。街道練習(50-150km)。

キーワード

集団走行。ギアの選択。バイク、車でのペーサー練習。安全確保。声かけと合図。

トラブルへの対処 パンク、落車、交通事故(加害、被害)

自転車専門部での工夫

顧問同士の連携、情報交換、技術指導を含めた役割分担。必要な機材の確保。

バンクでの習慣、自転車競技のルール、

練習の方法、考え方、自転車部運営についてのノウハウの共有。

他校の生徒でも気づいた先生が、必要な指導をする。

バンク練習:学校ごとのチームではなく、技術レベルに応じたチーム編成。

互いに気軽に相談し会えるような雰囲気。→メーリングリストの活用、年数回の会合。

事故やトラブルのときには、他校教員であってもチームとして動く。

複数校での合同合宿の実施。(関東大会前、インターハイ前、冬休み、春休み)

専門部としての問題点

選手経験のある指導者が不足している。(ルールに精通している教員の不足)

顧問の負担(知識、技術、拘束時間、責任)が大きい種目である。

顧問が頻繁に変わると、教員集団の運営技術(練習・試合)が定着しない。

全体を見渡せる人材が育たない。→専門委員長の人選に困る

以 上



自転車競技専門部 資料
練習風景
大宮双輪場・秩父合宿